

請求の範囲

- [請求項1] キャピラリと、
 前記キャピラリを支持する支持体と、を有するキャピラリアレイユニットにおいて、
 整流板を有し、
 前記整流板は、平板状であることを特徴とするキャピラリアレイユニット。
- [請求項2] 請求項1のキャピラリアレイユニットにおいて、
 前記整流板は前記キャピラリの外周の一部に設けられることを特徴とするキャピラリアレイユニット。
- [請求項3] 請求項1のキャピラリアレイユニットにおいて、
 前記整流板は、前記キャピラリと接触しない位置に配置されることを特徴とするキャピラリアレイユニット。
- [請求項4] 請求項1のキャピラリアレイユニットにおいて、
 前記支持体は、前記キャピラリを湾曲状に保持する第1支持部と、前記キャピラリを直線状に保持する第2支持部とを有し、
 前記第1支持部は、前記第2支持部を所定の方向に移動させるためのガイドを有し、
 前記整流板は、前記第2支持部が移動する直線上よりも下方に配置され、
 前記第2支持部が移動する直線上に配置されないことを特徴とするキャピラリアレイユニット。
- [請求項5] 請求項4のキャピラリアレイユニットにおいて、
 前記第1支持部は、前記第2支持部を着脱可能に保持する保持部を有することを特徴とするキャピラリアレイユニット。
- [請求項6] 請求項5のキャピラリアレイユニットにおいて、
 前記整流板は、前記第1支持部が前記保持部に保持されているときに、前記整流板と、前記キャピラリは接触しないことを特徴とするキ

ャピラリアレイユニット。

- [請求項7] 請求項4のャピラリアレイユニットにおいて、
前記第1支持体は指かけを有し、
前記第2支持体は押圧部を有することを特徴とするャピラリアレイユニット。
- [請求項8] 請求項4のャピラリアレイユニットにおいて、
前記第2支持体はつまみを有することを特徴とするャピラリアレイユニット。
- [請求項9] 請求項4のャピラリアレイユニットにおいて、
前記ャピラリの一端は一部に穴または溝が設けられたャピラリヘッドを有し、
前記第2支持体は前記穴または溝と係合する凸部を有することを特徴とするャピラリアレイユニット。
- [請求項10] 請求項4のャピラリアレイユニットにおいて、
前記第2支持体と前記ャピラリとの間は、放熱体を有することを特徴とするャピラリアレイユニット。
- [請求項11] 請求項4のャピラリアレイユニットにおいて、
前記ャピラリを前記第2支持体上に配置するための固定具を有し、
、
前記固定具または、前記第2支持体の前記固定具が配置される位置に、前記ャピラリを保持するための溝を有することを特徴とするャピラリアレイユニット。
- [請求項12] 請求項1のャピラリアレイユニットにおいて、
前記整流板と前記ロードヘッダの間は空隙を有することを特徴とするャピラリアレイユニット。
- [請求項13] ャピラリと、前記ャピラリを支持する支持体とを有するャピラリアレイユニットと、
前記ャピラリの一端が接続され、前記ャピラリに分離媒体を送

液するための送液機構と、

前記キャピラリの一部に光を照射し、前記キャピラリ内の試料を測定する検出ユニットと、

前記キャピラリが内部に収容され、前記キャピラリの温調を行う恒温槽と、を有する電気泳動装置において、

前記恒温槽は、熱源と、前記恒温槽内に送風するファンとを有し、

前記恒温槽または前記キャピラリアレイユニットは、前記ファンにより送風された風の向きを調整するための整流板を有することを特徴とする電気泳動装置。

[請求項14] 請求項13の電気泳動装置において、

前記整流板は、前記キャピラリの外周の一部に設けられることを特徴とする電気泳動装置。

[請求項15] 請求項13の電気泳動装置において、

前記整流板は、前記ファンにより前記恒温槽内に生じた空気の旋回流を分岐することを特徴とする電気泳動装置。

[請求項16] 請求項13の電気泳動装置において、

前記支持体は、前記キャピラリを湾曲状に保持する第1支持部と、前記キャピラリを直線状に保持する第2支持部とを有し、

前記恒温槽は、前記キャピラリが接触する位置の少なくとも一部に放熱シートを有し、

第2支持部の一部は、前記放熱シートを有した前記恒温槽の接触位置よりも幅が広いことを特徴とする電気泳動装置。

[請求項17] 請求項13の電気泳動装置において、

前記送液機構の前記キャピラリの接続位置と、前記検出ユニットによる前記キャピラリの検出位置とは直線上に配置されており、

前記整流板は、前記直線の下方に配置されることを特徴とする電気泳動装置。